

「個人情報管理セミナー」を 保護管理者・副保護管理者・保護担当者を対象に開催

群馬大学では、個人情報管理セミナーを第1回目は2月4日（木）荒牧地区の事務局大会議室において、第2回目は2月9日（火）昭和地区医学部大会議室の2会場において開催した。

今回は、適切な管理を確保する立場の保護管理者、副保護管理者及び保護担当者を対象に、個人情報の適切な管理のための理解と保護に関する意識の高揚を図ることを目的に、本学の抱井監事を講師にセミナーが行われた。

セミナーでは、抱井監事が長年勤務された金融機関での現場における取組事例の紹介を交えながら、個人情報を大切に扱う文化の醸成について必要性を説かれた。そして、現場サイドで個人情報の漏えい・紛失を防ぐには、「台帳、保管場所、施錠」の3点セット、すなわち①個人情報として何を持っているか確定をして台帳管理すること、②保管場所を定めて守ること、③帰宅時には施錠する、の基本的なことを現場で愚直にやることに尽きるとの説明があった。

また、保有個人情報保護管理規程と個人情報管理ハンドブックを基に、本学の管理体制や取扱い方法、定期的点検などについての解説があった。教職員の指導的・管理的立場にあるリーダーとして、担当者を信頼して任せることは大切であるが、任せっきりにせず、きちんと組織としてチェックしていくことや、リーダーが机上の整理など自ら整理整頓を行い、個人情報を適切に管理する職場環境を作っていくことの重要性について説明があり、『リーダーとしての心構えについて』、意識が高められる機会となった。

最後に抱井監事から、「知識よりも意識、そして実践。特別なことをするのではなく、あたりまえのことを『くり返し、くり返し、そしてくり返し』、愚直に継続してやってください。」と鼓舞激励があり、セミナーは終了した。

